

令和2年度 第7回県政参画電子アンケート 「県民の地震対策」に関するアンケート結果

1 調査概要

- テーマ 「県民の地震対策」に関するアンケート
- 実施期間 令和3年9月4日～9月14日
- 対象 県政参画電子アンケート会員 600名
- 回答数 396名(回答率 66.0%)

2 目的・概要

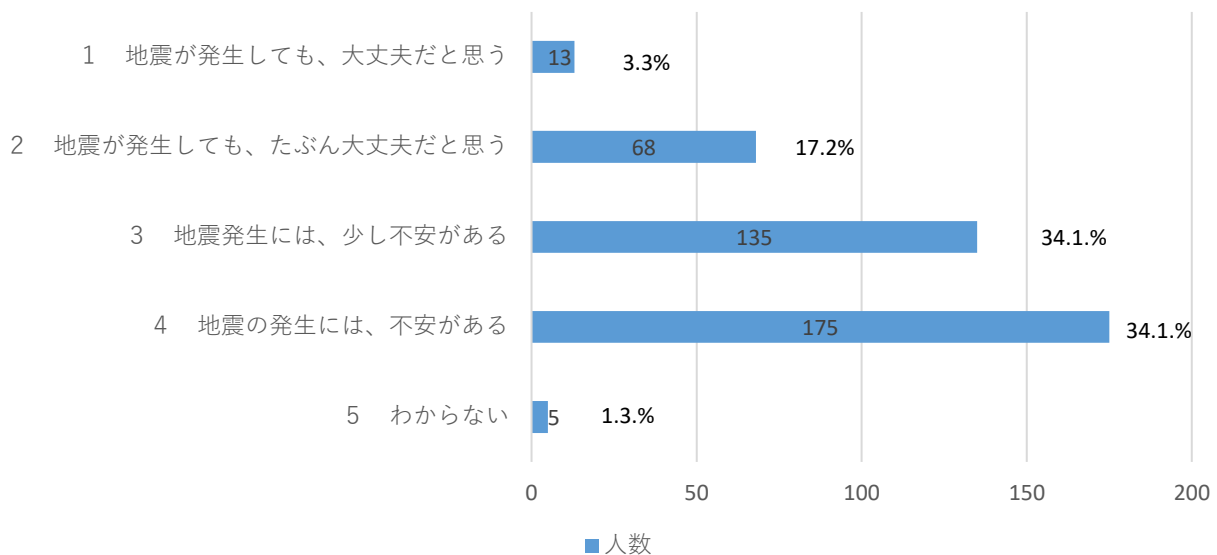
令和2年10月6日で鳥取県西部地震の発生からちょうど20年を迎えます。この20年間に全国では大きな地震が相次いで発生しており、本県でも平成28年に鳥取県中部を震源とする最大震度6弱の地震も発生しています。

南海トラフ地震などの発生も懸念される中で、今後の防災、減災対策の参考とするため、地震に対する備えや意識、考え方について県民のみなさんにアンケートを行いました。

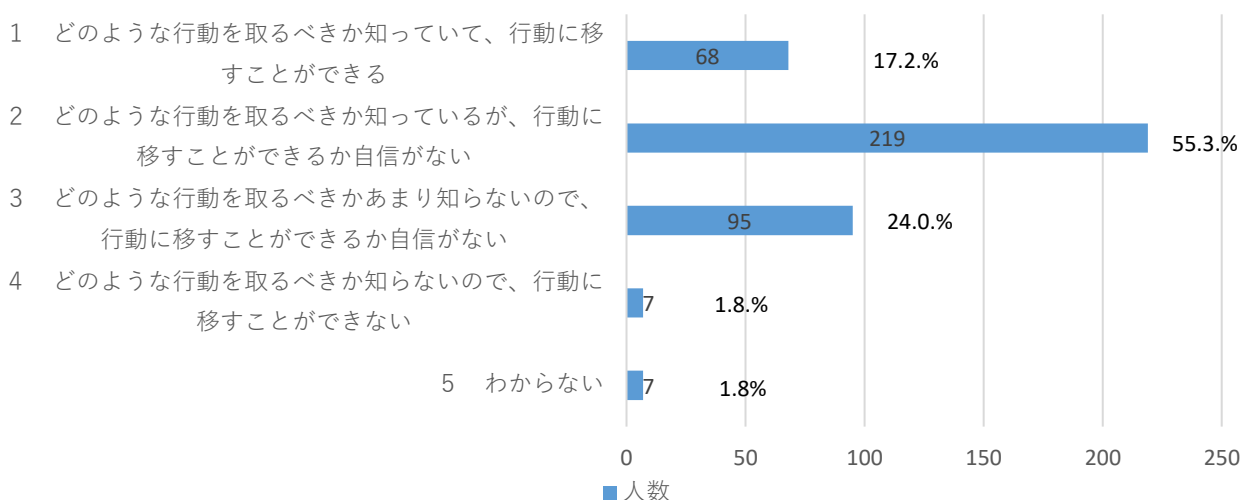
※ 減災とは

阪神・淡路大震災(1995年)以降に生まれた概念で、大規模災害が発生した場合、ハード対策などのあらゆる防災対策を行っても被害を完全になくすことは不可能であることから、事前に重点的な対策等を計画的に実施することで、被害をできるだけ少なくしようという考え方。

【問1】あなた(又はあなたの御家族)の地震についての意識(考え方)を教えてください。(1つだけ選択)

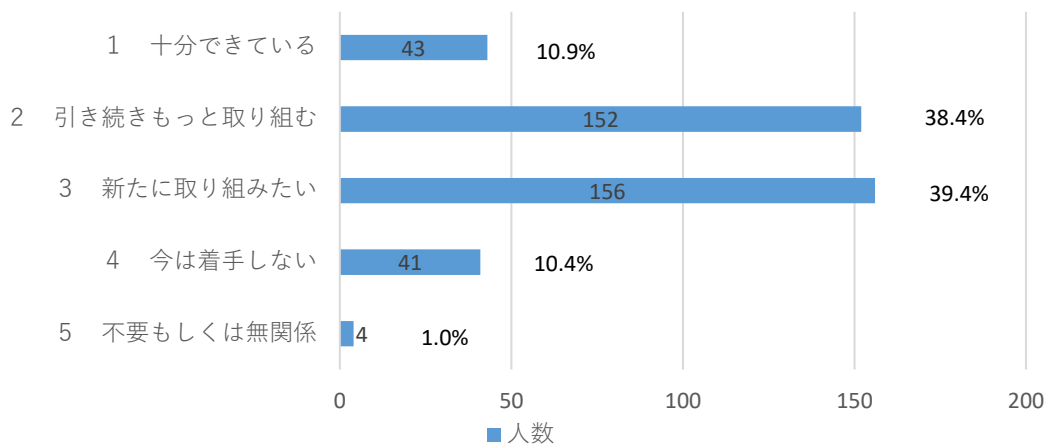


【問2】あなた(又はあなたの御家族)は地震発生後に取りべき行動(避難、安否確認など)について知っていて、行動に移すことができますか。(1つだけ選択)

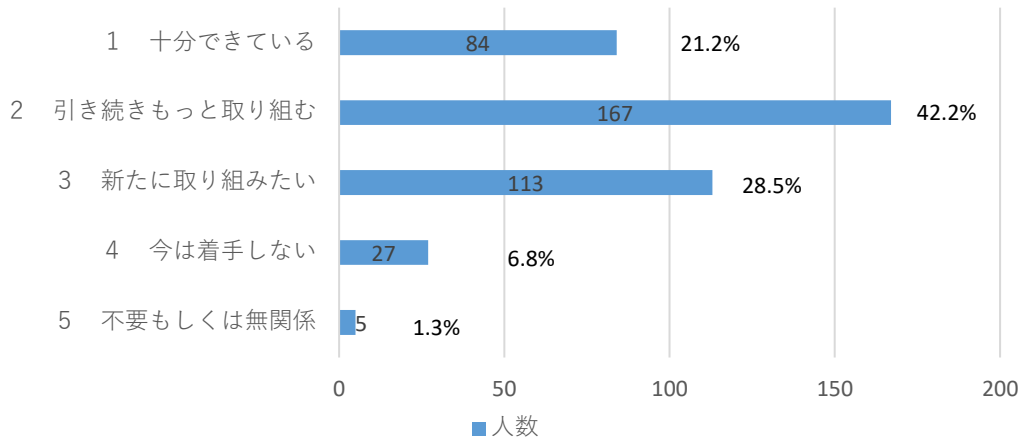


【問3】あなた(又はあなたの御家族)が、地震への備えとして、これまでに取り組んできた対策や今後取り組みたい対策などあれば教えてください。(問3-1～問3-14まで、それぞれ1つずつ選択)

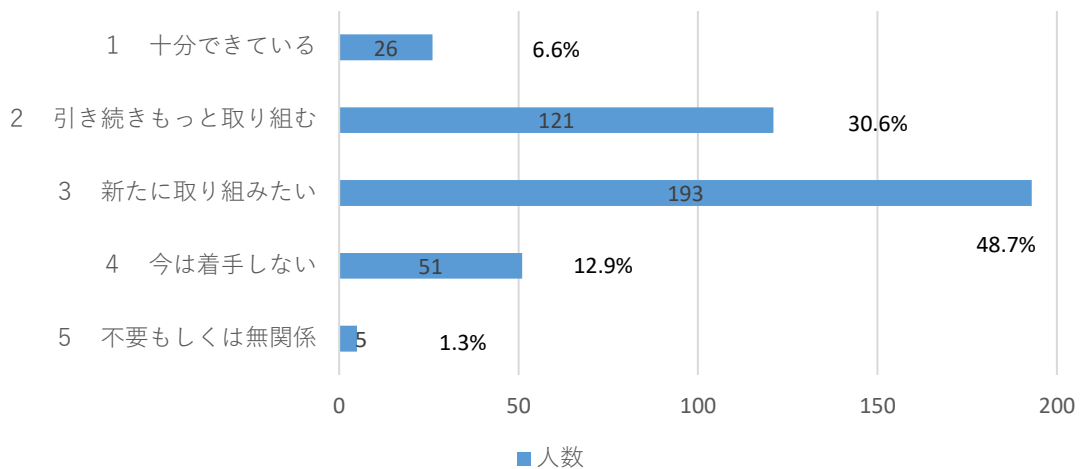
(1) 飲料水や食料の備蓄(3日間程度)



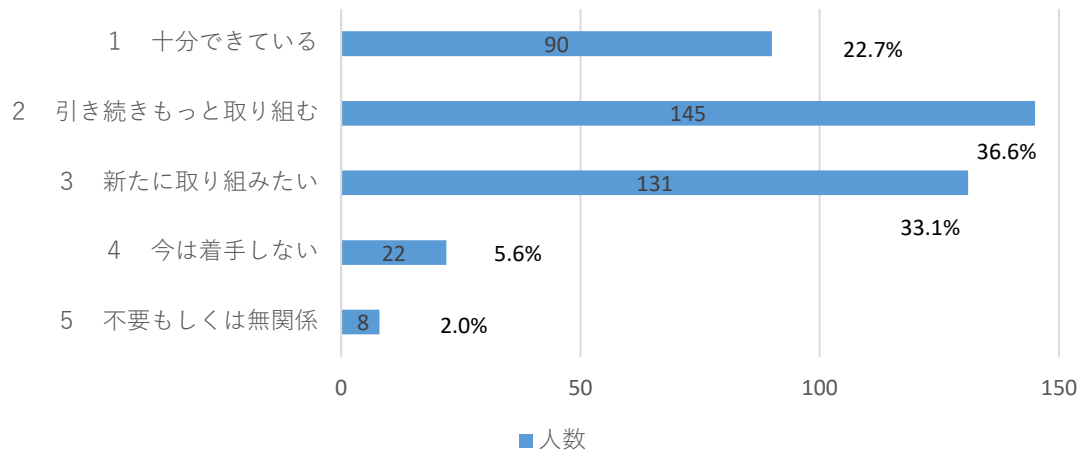
(2) 衛生用品(マスク、消毒液等)の備蓄



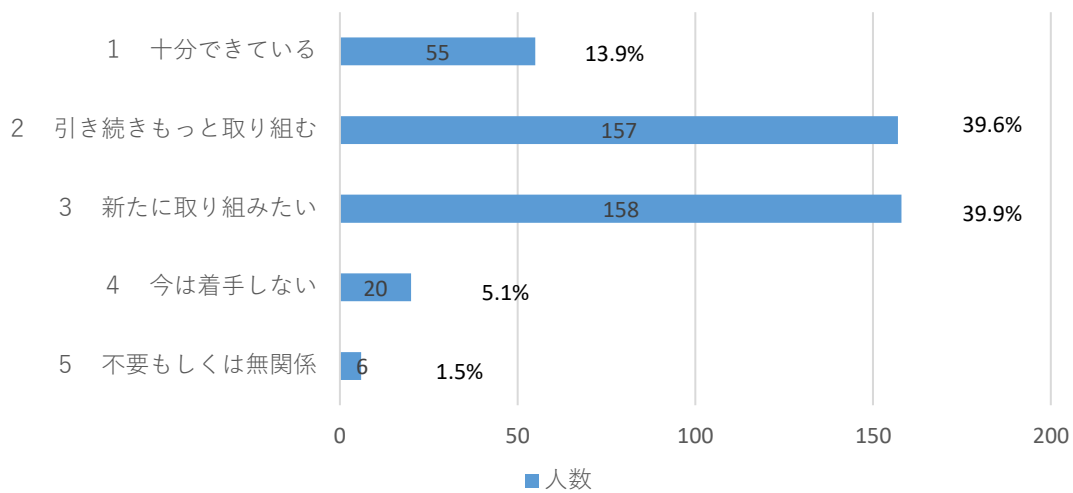
(3) 非常持ち出し袋(食料や水、衛生用品以外のもの)の準備



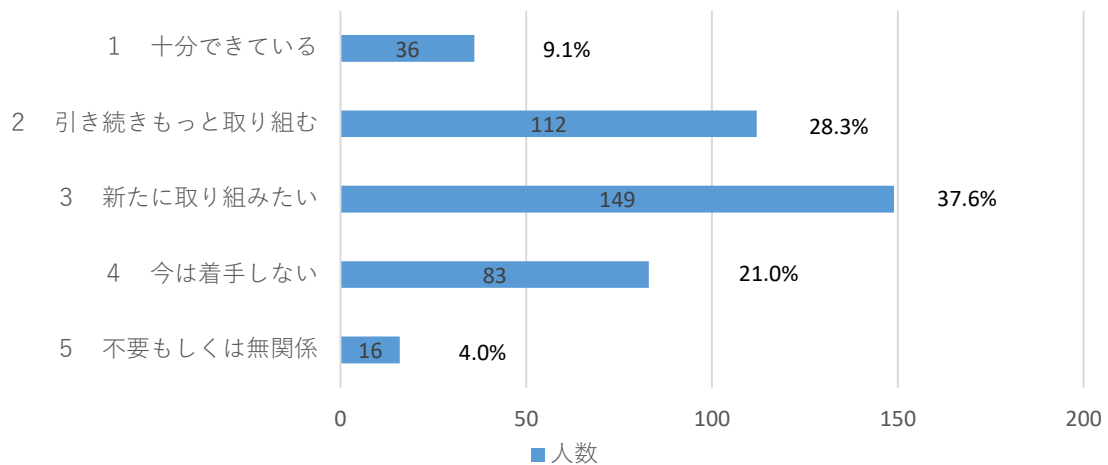
(4) 避難所や避難経路の確認



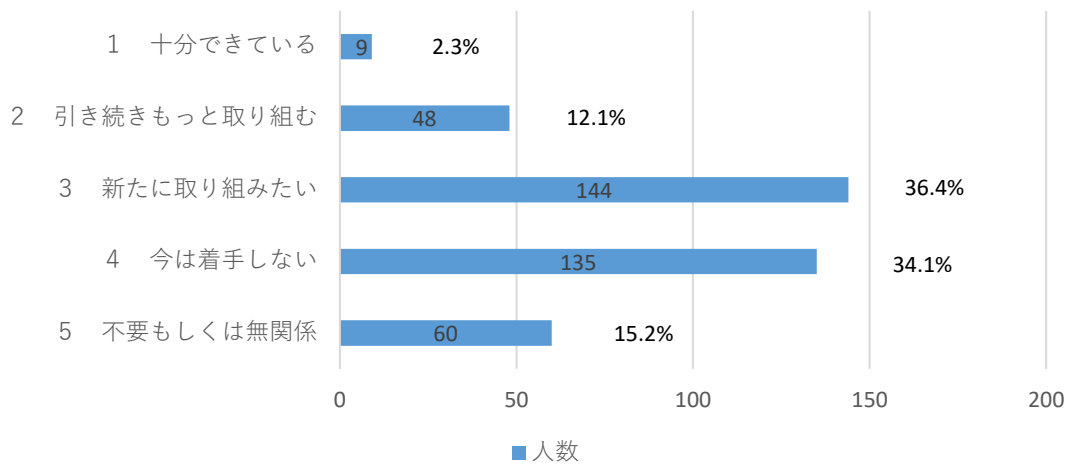
(5) 災害時における家族との連絡方法の確認



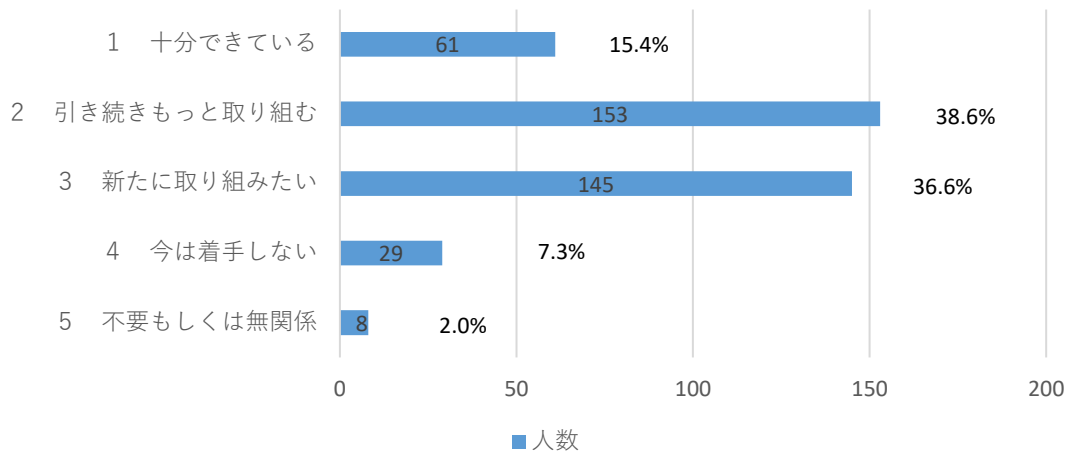
(6) 防災訓練への参加



(7) 避難を手伝ってもらうことについての近隣へのお願い



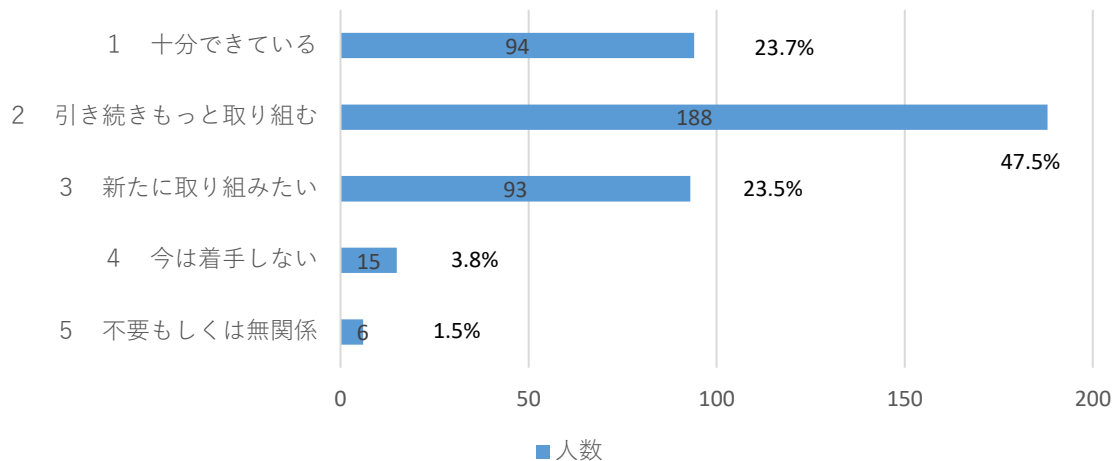
(8)ハザードマップ等による災害時の危険箇所の確認



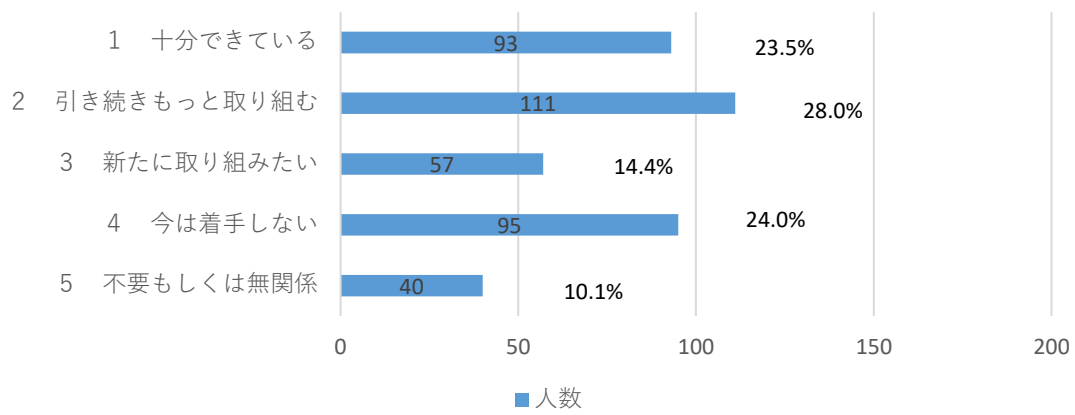
※ ハザードマップとは

市町村等が作成している災害の種別ごとに被害の発生が考えられる地域や被害の想定を地図上に記載したもの。

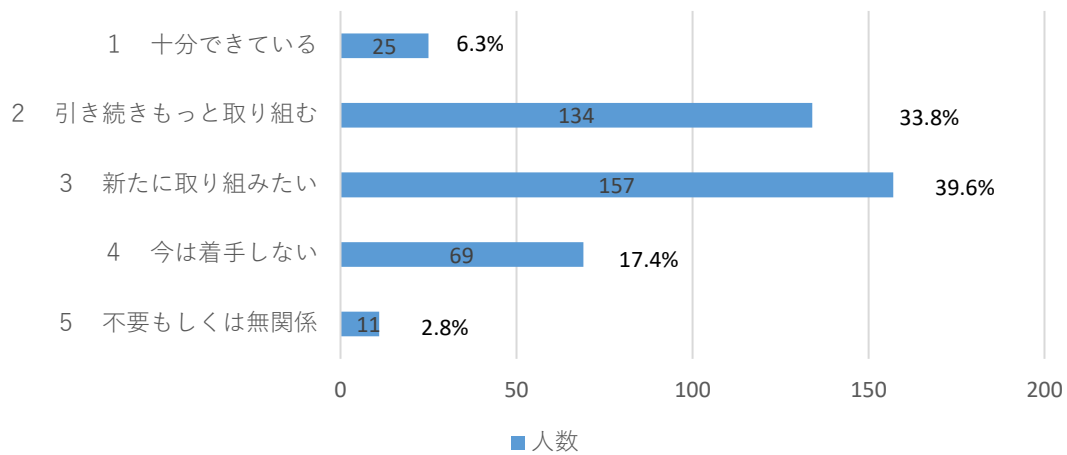
(9)気象や災害に関する情報の入手方法の確認



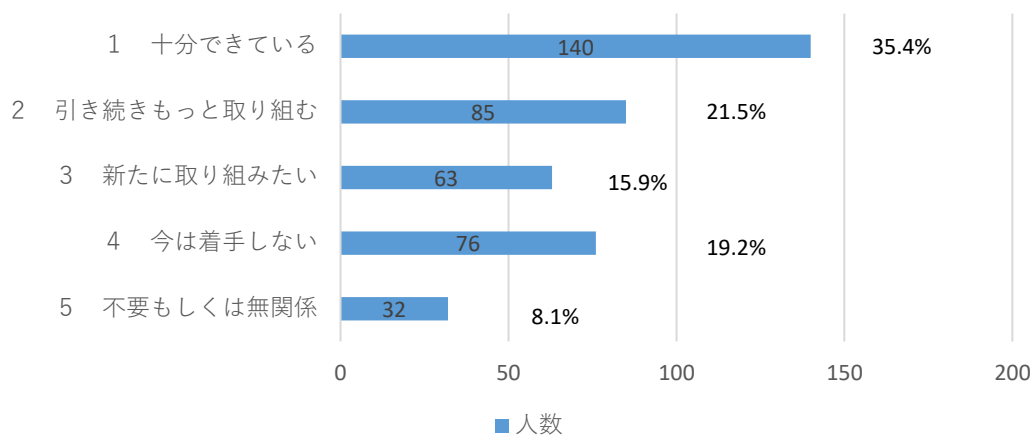
(10)住宅の耐震化



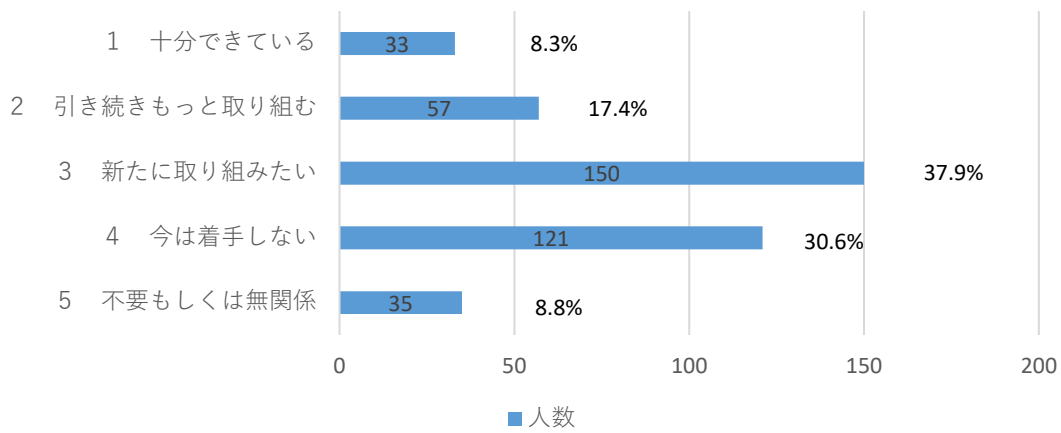
(11)家具の固定や転倒防止、ガラスの飛散防止対策



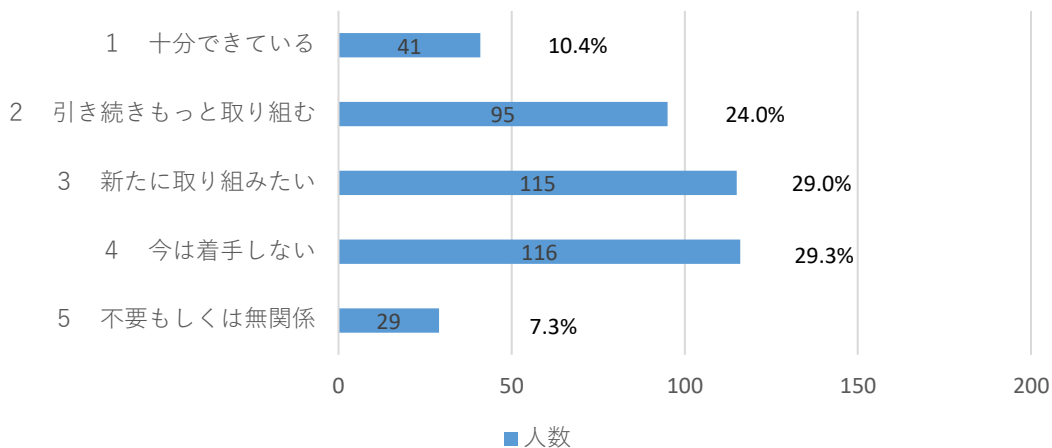
(12)地震保険への加入



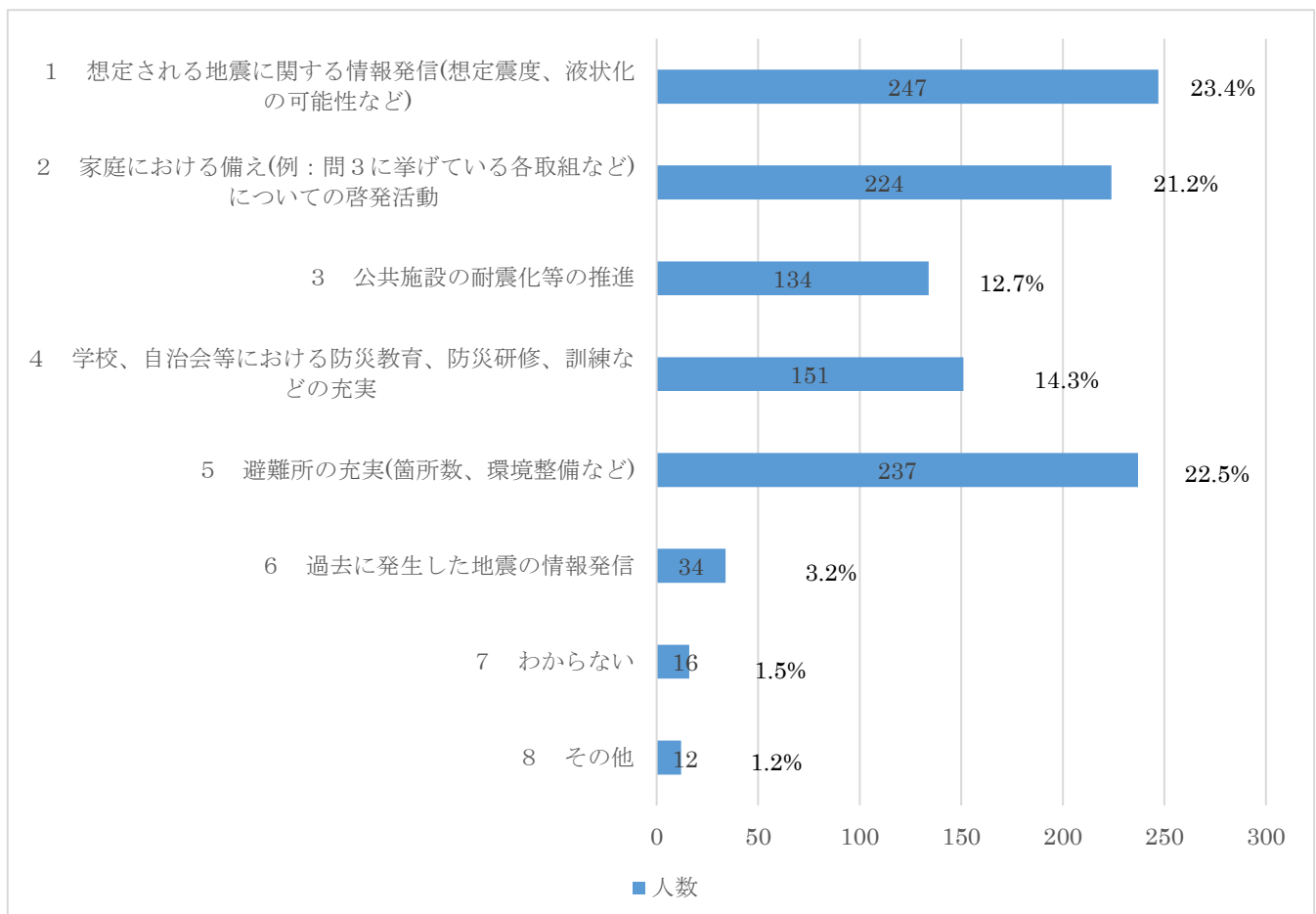
(13)感震ブレーカーの設置



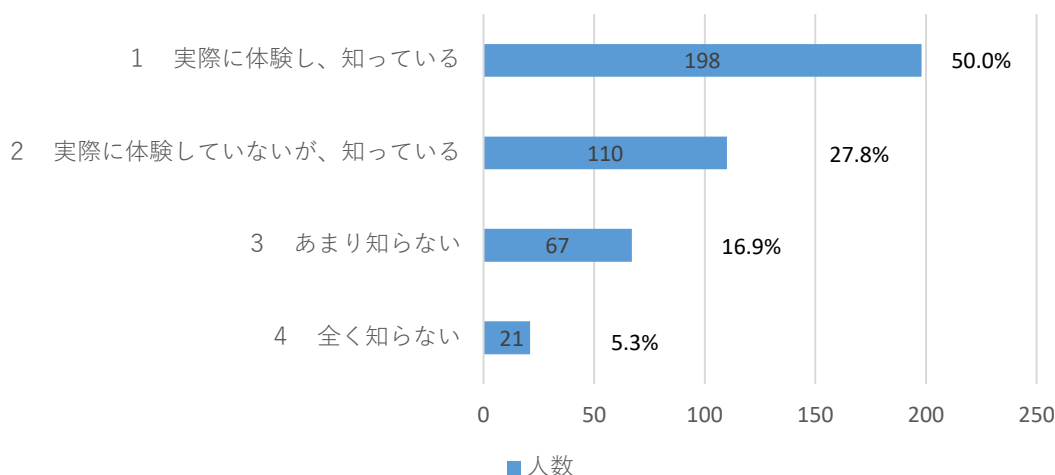
(14) 自主防災組織や自治会などの防災活動への参加



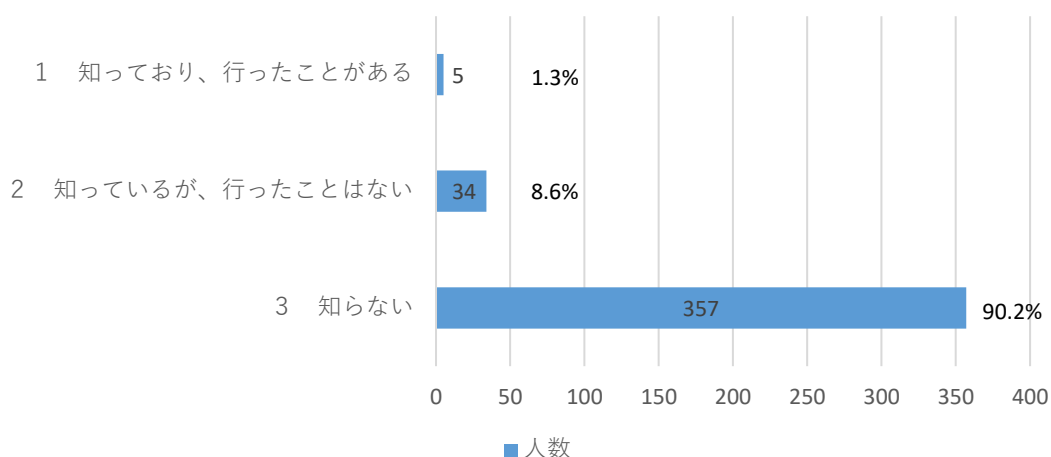
【問4】地震防災に係る行政の取り組みについて、特に重要だと思うことを教えてください。(複数選択可)



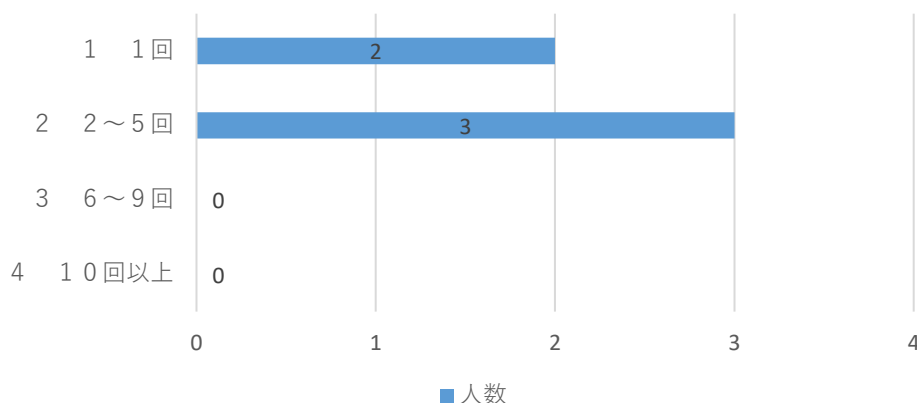
【問5-1】平成12年10月6日に鳥取県西部地震が発生し、まもなく20年が経過しようとしています。あなたは「鳥取県西部地震」のことを知っていますか。(1つだけ選択)



【問5-2】鳥取県では鳥取県西部地震の記憶や経験について風化させることなく、後世に継承するための拠点として、平成18年に「鳥取県西部地震展示交流センター」を日野町に設置し、資料の展示、研修等の企画運営、視察の受入を行っています。あなたは「鳥取県西部地震展示交流センター」(以下「交流センター」という。)を知っていますか。(1つだけ選択)

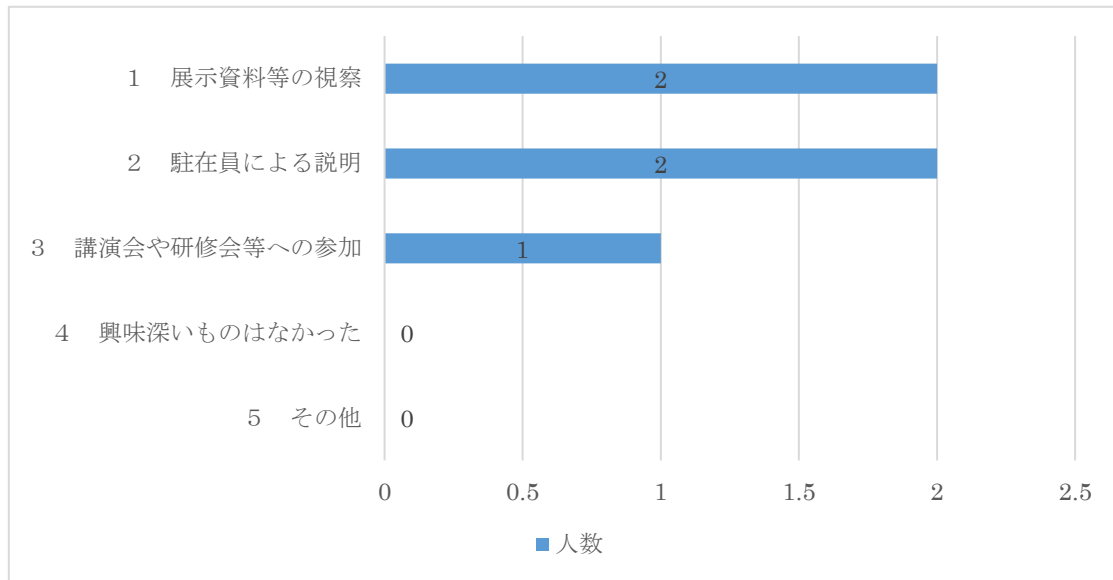


【問5-3】問5-2で「1 知っており、行ったことがある」と答えられた方にお尋ねします。何回位行ったことがありますか。(1つだけ選択)

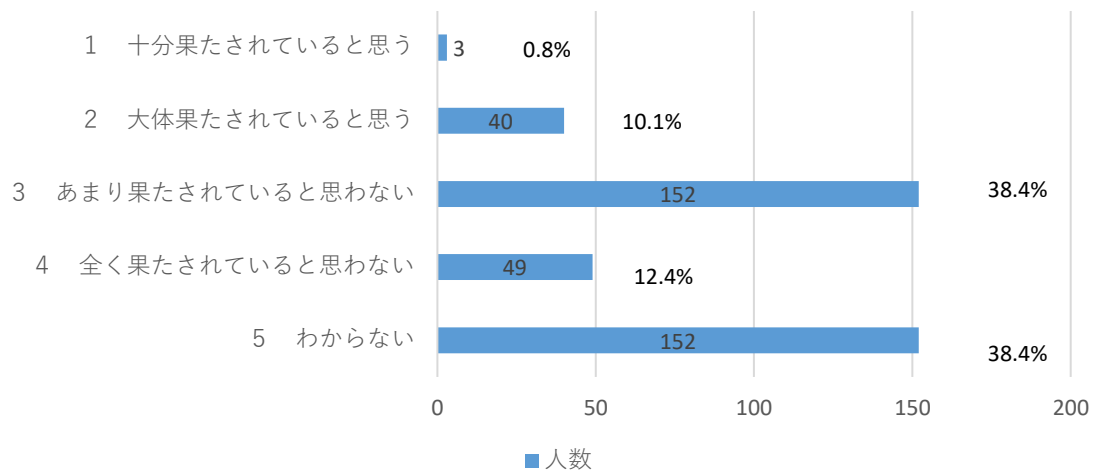


【問5-4】問5-2で「1 知っており、行ったことがある」と答えられた方にお尋ねします。「交流センタ

一」で体験(経験)されたものの中で最も興味深かったものを教えてください。(1つだけ選択)



【問5-5】 全ての方へお尋ねします。鳥取県西部地震の記録や記憶を後世に伝承するという「交流センター」の目的は果たされていると思いますか。(1つだけ選択)



【問5-6】 その他、「交流センター」に関する御意見があれば、自由に記載してください。

○交流センターというものが有ることを初めて知りましたし、周囲も知っている人はいないのではないかと思います。日野町にあるということですが、西部地区の中心である米子市に設置したほうがアクセスしやすくなっていいのではないのでしょうか。

○現況を鑑みると箱物ではなく、WEBによる擬似体験でも十分だと思われます。設置場所も地震の被害が最も深刻だったとはいえ、日野町にある事を考えると、鳥取県西部はもとより、東部地区からの訪問者は絶望的だと思います。

○公民館のイベント等で、日帰りバスツアーのような方法で安価で訪問できると、うれしいです。

など